

2022年度 ドナー安全講習

日時：2022年7月11日(月) 18:00～19:00

方法：Microsoft Teams によるオンライン形式

参加費：無料

対象：採取責任医師・採取担当医師
骨髄バンクドナー採取に関わるみなさま

プログラム

「骨髄バンクドナーの有害事象 ～具体的な事例から安全な採取を考える～」

ドナー安全委員会 副委員長

大阪公立大学医学部附属病院 血液内科・造血細胞移植科
日野雅之先生

非血縁者間骨髄採取施設認定基準が2021年10月1日に改訂され、採取責任医師・採取担当医師の認定基準が変更されました(参考:非血縁者間骨髄採取施設認定基準)。

全ての採取責任医師・採取担当医師の方が対象となり、運用が開始される
2023年度年次調査(2022年12月予定)までに安全講習の受講が必要となります。

上記日程で安全講習を開催いたしますので、ぜひご参加ください。

*講習会は適宜開催されます

参加ご希望の方は[ここ](#)からお申し込みください
右のQRコードからのお申し込みも可能です
申し込まれた方には受付確認の自動メールが届きます
当日の参加リンクは後日メールにてご案内致します

申込期限:2022年7月7日(木)まで

参加申し込みQR



■このセミナーのお問い合わせ

TEL 03-3588-1111 内5670

Mail tora-kyoten@toranomom.gr.jp



非血縁者間骨髄採取施設認定基準 (2021年10月1日改訂)

今回 2022 年度年次調査は、旧「非血縁者間骨髄採取施設認定基準 (2019.10.1 一部改訂) が適用され、変更された基準<年次調査において、過去 3 年以内に骨髄バンクが指定する安全講習を受講していること>は 2023 年度年次調査 (2022 年 12 月予定) からの運用となります。

※非血縁者間骨髄採取施設認定基準が 2021 年 10 月 1 日に改訂され、下線の内容が追加されました。

採取責任医師 / 担当医師

1. 採取責任医師

- 1.1 採取責任医師が定められていること。
- 1.2 採取責任医師は、過去 10 例以上の骨髄採取術を経験していること。
- 1.3 採取責任医師は、ドナーが入院する病棟あるいは外来において骨髄採取術に関わる全ての医療行為に対して責任を持つこと。
- 1.4 採取責任医師は、骨髄採取術に関わる医療行為以外にも、ドナー保護の観点において一般的な責任を持つこと。
- 1.5 採取の方法及びリスクについての知識を有していること (注)。

2. 採取担当医師

- 2.1 採取の方法及びリスクについての知識を有していること (注)。
- 2.2 直近 3 年間に 5 例以上の骨髄採取術を経験している常勤の医師が必ず骨髄採取に 1 名以上参加し、当該医師の監督・指導の下に採取を実施すること。

(注) 年次調査において、過去 3 年以内に骨髄バンクが指定する安全講習を受講していること。

(骨髄バンク主催、ブロック会議、拠点病院主催、学会主催など)

通知文はこちら

「非血縁者間骨髄採取施設認定基準」改訂について (2021 年 10 月 1 日)

https://www.jmdp.or.jp/medical/notice_w/post_496.html

